

チームオレンジ ~ このまちで自分らしく生きていく ~



1.基本情報(令和6年12月現在)			
市・町名	新上五島町		
人口	高齢者人口	高齢者率	面積
16,673人	7,626人	45.70%	214km ²
2.チームの概要			
チーム名	チームおれんじ新上五島町「三日ノ浦たちばな会」		
開始時期	R6 年 9 月 21 日 ~		
実施主体	<input type="checkbox"/> 市町 <input type="checkbox"/> 地域包括支援センター <input checked="" type="checkbox"/> 住民・ボランティア <input checked="" type="checkbox"/> 社会福祉協議会 <input type="checkbox"/> その他 ()		
チームオレンジ コーディネーターの属性	地域包括支援センター職員		
メンバー構成	三日ノ浦地区住民20人		
活動頻度	・毎週1回		
チームオレンジの類型	<input type="checkbox"/> 第1類型 共生志向の標準タイプ <input checked="" type="checkbox"/> 第2類型 既存拠点活用タイプ <input type="checkbox"/> 第3類型 拠点を設置しない個別支援型タイプ <input type="checkbox"/> その他		
チームオレンジ三つの 基本について	<input checked="" type="checkbox"/> 3つの基本を満たしている <input type="checkbox"/> 3つの基本は満たしていないものの仕組みが構築されている。		
運営財源	<input type="checkbox"/> 市町からの委託 <input checked="" type="checkbox"/> 市町からの補助 <input checked="" type="checkbox"/> 会費・参加費 <input type="checkbox"/> その他 () 上記の財源 <input type="checkbox"/> 市町一般財源 <input checked="" type="checkbox"/> 地域支援事業交付金 <input type="checkbox"/> その他 ()		

3. チームオレンジの設置に至ったプロセス

当町は離島で人口減少が著しく、高齢者世帯が増えている。7年前に孤食を防ぎ元気に高齢期を過ごそうと、住民ボランティアが立ち上がり地域ミニデイサービスを開始した。三日ノ浦は、もともと地区内の結束が強く、認知症の方の支援について学びたいと依頼があった。

4. 活動内容

- ・毎週1回地区公民館で住民主体の通いの場を実施。2回は昼食も提供。
- ・毎月たちばな会便りを発行。
- ・連絡網を作り密な連絡を行う。
- ・参加者の変化に気づき見守り活動ができている。

5. 活動を進めて行く上で工夫したこと・配慮したこと

地域ミニデイが軌道に乗り、更に顔を合わせる機会を多くもちたいとサロンで頻度を高めたことで、参加者の変化に気づき見守り体制や医療機関受診などに繋がっている。どなたでも気軽に参加してもらうよう地区住民に広く周知するための便りを発行し工夫している。

6. ステップアップ講座の開催状況・講座内容について

- ・ボランティアリーダーが地域ミニデイにあわせ講座を計画し包括へ依頼。
- ・リーダーがチラシも作成し、広く地区住民に配布してくださった。
- ・講座は包括支援センター職員と島内の認知症支援推進団体の講師で役割分担し、地域での社会参加が具体的にイメージできる内容とした。

7. 活動してきたことで得られた効果・見えてきた課題

【効果】

もともと結束が強い地区だったが、さらに認知症高齢者に対する意識が高まった。

【課題】

参加しない方への支援。

8. チームのアピールポイント

ミニデイ・サロンを実施することによって、居場所提供・見守り・手助け・安否確認・食事提供へと活動が自然と広がっている。男性の協力も多く、これまでの職業を活かしたボランティア活動ができ、みんなが生き生きとした表情で楽しく参加できている。

9. 今後の活動について

もしも認知症になった時に備え、意思表示を事前に把握しておくことも必要だと思うという意見があり、「思いを伝えるこれからノート」(町版エンディングノート)の活用をすすめたい。